Creative Enzymes®

ネイティブアエロモナス・プロテオリティカ・アミノペプチダーゼ

Cat. No. NATE-0071

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	Aeromonas proteolyticaからのアミノペプチダーゼはメタロ酵素であり、約29.5 kDaの分子量を持つ単一のポリペプチド中に2つのZn2+原子を含んでいます。 この酵素は高い安定性を持ち、70°Cの温度でも数時間安定しています。部分的な不活性化は8 M尿素中で発生します。最大の安定性と活性はpH 8.0-8.5の間にあります。Aeromonas proteolyticaからのアミノペプチダーゼはエステラーゼとして機能することができます。
用途	アミノペプチダーゼは、広く分布しているプロテアーゼのファミリーであり、タンパク質の成熟、ホルモンの生成、ペプチドの消化など、多くの重要な生物学的プロセスを研究するために使用される可能性があります。この酵素は、一般的なプロテアーゼ阻害剤であるベスタチンがアミノペプチダーゼに結合する際の速度定数を測定するために使用されてきました。
別名	アミノペプチダーゼ; 37288-67-8; EC 3.4.11.10; アエロモナス・プロテオリティカ アミノペプチダーゼ

製品情報

由来	アエロモナス・プロテオリティカ
形態	凍結乾燥粉末、50-150単位/mg タンパク質
EC番号	EC 3.4.11.10
CAS登□番号	37288-67-8
最適pH	8.0-8.5
組成	タンパク質、約40% ビウレット
特異性	N末端アミノ酸、特にロイシンの放出を触媒しますが、グルタミン酸やアスパラギン酸は触媒しません。
緩衝液	水に0.9-1.1 mg/mLの濃度で溶解し、透明で無色の溶液を形成します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C